

会報
むすび
創立六十周年記念号

第47号

令和5年5月吉日
発行所
栃木県青年神職むすび会
研修・広報委員会
発行人
和田晋典
印刷所
株式会社 協栄社





令和4年度総会

目次

会長退任挨拶 1

会長就任挨拶 2

創立六十周年記念事業実行委員長挨拶 3

創立六十周年記念事業開始奉告祭並びに疫病退散祈願祭 4

救命救急講習会 5

医療従業者応援事業 7

御朱印展 9

青少年育成事業 10

栃木の神社PR事業 12

栃木の神社めぐりInstagramフォトコンテスト 13

むすび会創立六十周年記念大会 14

第二十五回一都七県協議会神職野球大会 16

神道青年全国協議会 沖縄戦全戦歿者慰霊祭 16

令和四年度 むすび会事業報告 17

令和五年度 むすび会役員・幹事氏名 18

退会会員、御結婚 19

協賛者名簿 20

協賛社広告 24

編集後記 26

会長退任挨拶

先ず以つて、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げますとともに、神宮におかれましても諸祭恙なく斎行されておりましてこと慶賀に存じ上げます。

平素より当会の諸活動に対しご理解とご協力を賜りますこと心より御礼申し上げます。

二年前、田邊前会長より禱を受け会長に就任致しましたが、十四年ぶりに神道青年全国協議会の関東地区理事を栃木県が務める時期と重なり、甚だ未熟者ですが関東地区の理事として二年間全国に出向させて頂きました。このような経験が出来ましたのも越口・和田両副会長を始め今期の役員や会員の皆様、先輩諸兄のご支援のおかげでございます。改めて御礼を申し上げます。

この二年間を思い返しますと、一年目の令和三年度はコロナウイルスの影響により通常のむすび会事業や親睦が行えず苦しい船出となりましたが、神青協一都七県協議会事業の主管県として、六月の総会や九月の神職野球大会などを担当することとなり、通常の準備に加えコロナウイルス対策も検討しなければならず、不安な日々が続きました。結果としましては、完全オンライン形式にて総会を開催し、野球大会は中止となりましたが、八年に一度主管県が回ってきますので、会として新たな開催方法を検討し会員全体で協議できたことは、次に繋がる貴重な経験であったと思います。また、コロナ禍ではありましたが感染状況を注視しつつ、八月には日光二荒山神社様のご厚意により男体山登拝研修会を、十月には南那須支部様の



栃木県青年神職むすび会 第二十五代会長 上野 敬則

ご支援をいただき、道の駅「ばとう」那珂川観光センター内にて御朱印展を、令和四年三月には芳賀支部様と共催し祭式研修会をそれぞれ開催致しました。二年目の令和四年度は、むすび会創立六十周年の年にあたり、越口実行委員長のもと実行委員会を始め多くの会員のご協力をいただき、五月から六月にかけて医療従事者への応援事業や八月には古峯神社様を会場に青少年育成事業、九月には道の駅「うつのみやろまんちっく村」にて御朱印展などを開催致しました。コロナウイルスの影響により規模を縮小しての開催となりましたが、Instagramを活用したフォトコンテストや神社PR活動など、時代に即した事業も展開できました。令和五年二月には県内の先輩諸兄を始め全国や関東地区の多くの同志をお招きし、創立六十周年記念大会を開催致しました。この三年間全国の単位会では記念事業や式典の規模縮小や中止が続く中で、通常の式典や祝賀会を開催できましたことは本当に有難く、ご参加いただいた皆様の気持ちの一つになった大変賑やかな大会となりました。今回の周年事業に對しまして県内外より多くの皆様にお力添えを賜りましたこと、この場をお借りし改めて衷心より御礼を申し上げます。

来年度からむすび会は和田新会長のもと新たな体制となりますが、少子高齢化に伴う人口の減少や神棚のない家庭が益々増加して行く中、青年神職が果たすべき役割は多岐に渡ります。青年会員自体も減少して行くことが予想されますので、皆様方には今まで以上にむすび会の会員一同に對しご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。二年間大変お世話になりました。

会長就任挨拶

先ず以つて、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げますとともに、天皇陛下におかせられましたは、ご即位五年の佳節を迎えられましたこと誠に慶賀に存じます。また、神社庁長様をはじめ県内神社、関係諸団体の皆様には、平素より栃木県青年神職むすび会の諸活動にご理解とご尽力を賜っておりますこと、深く感謝申し上げます。

令和四年十一月の臨時総会にて、上野前会長の後任として承認を受け、僭越ながら第二十六代会長に就任いたしました。甚だ力不足ではございますが、信頼できる仲間と共に会の運営に努めてまいり所存です。

扱、令和四年度は当会創立六十周年の大きな節目を迎え、依然続くコロナ禍に悩まされながらも、上野前会長また越口実行委員長の下検討を重ね、会員一丸となつて実現可能な形を模索しながら様々な記念事業を展開してまいりました。五月の記念事業開始奉告祭並疫病退散祈願祭に始まり、医療従事者への感謝を込めた「むすび守り」事業、インスタグラムフォトコンテスト、救急救命講習会、古峯神社における青少年教化育成事業、御朱印展、栃木の神社PR事業、そして去る二月の記念大会の折には多くの先輩諸兄、神青協の同志、

栃木県青年神職むすび会

第二十六代会長 和田 晋典



協賛団体各位のご臨席と会員各位のご協力の下、盛大に執り行うことができました。

本年度にあつては、徐々にコロナ禍への規制緩和が進み個人の判断に委ねられる状況にあります。当会も六十周年記念事業の経験を活かすつ出来得る事業を検討し、またコロナ禍を経て以前のように会員皆が集い活動できることの有り難さを噛み締めながら六十一年目という新たな一歩を踏み出していきたいと思います。

振り返れば、十二年前神職になりたての右も左も分からぬ中、支部の先輩のお声かけに応じるままに当会に入会致しました。それから多くの先輩方、同世代の仲間たちとの関わり合いを持つ中で、神職としての経験不足を補っていただけだけでなく、精神面でも大きな拠り所となつております。会員の皆様におかれましては、これから神職として永いお付き合いとなるであろう仲間たちとの基盤を築いていくこの期間を大切に過ごし、県内外に捉われることなく大いに研鑽と親睦を深め有意義なものにしてまいりましょう。

改めて先輩諸兄が仲間と共に歩み積み重ねた六十年の足跡に感謝し、その想いと青年会という財産を次世代に結び繋いでまいり所存です。今後とも、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

創立六十周年記念事業実行委員長挨拶

先ず以つて、謹んで聖寿の万歳と皇室国家の弥栄をお喜び申し上げます。

我が国では、令和二年一月に初めてコロナウイルスの感染者が確認されてより、早くも三年の年月が経ちました。本周年記念事業の計画を練っていた当時（令和三年）は、コロナ禍の真つ口中であり、感染症を念頭に置きながら実行委員会を開き準備を進めて参りました。

五月十九日、周年を迎えるにあたり「創立六十周年記念事業開始奉告祭並疫病退散祈願祭」を栃木県神社庁神殿に於いて斎行し、記念事業の開始報告をすると共に感染症の終息を祈願致しました。

先ず初めに取り組んだ周年事業として、コロナ禍において常に最前線で感染症と戦い続ける医療従事者の方へ、感謝と健康への祈りを届ける「医療従事者応援事業」を行いました。当会のマークをモチーフにした「むすび守り」を考案し、五月から六月にかけて会員の奉務神社に御守の素材を設置し参拝者の方に奉製していただくところ、一千二百五十体もの御守が完成致しました。八月二十三日に栃木県神社庁神殿にて清祓式を斎行し、同日、協力機関である栃木県医師会、稲野会長様へ届け、県内の医療関係者へと頒布をしていただきました。参拝者の願いを届けるため、会員が一丸となり執り行うことができた事業となりました。尚、当会の活動に対して、栃木県医師会様より感謝状を賜りましたことを申し添えます。

次に、柱となる周年事業の一つとして九月三日から十一日にかけて、御朱印の魅力と県内神社への参拝促進を目的とした「御朱印展」を道の駅うつのみやろまんちっく村にて開催致しました。過去最多

栃木県青年神職むすび会

創立六十周年記念事業実行委員長

越口 政典



となる百八社の御朱印が展示され、来場者を魅了しておりました。会場内には同時期に開催していた記念事業の一つである、「インスタグラムフォトコンテスト」の最終投票や、神宮大麻全国頒布百五十周年でもあった為、神棚コーナーを設け希望される方には簡易神棚の頒布を行い、神道教化に繋がる御朱印展となりました。期間中は延べ五千人が来場され、成功裡に終えることができました。

また、救命技術を学ぶ「救急救命講習会」や青少年の教化育成を目的とした「青少年育成事業」、県内神社の情報インスタグラムで発信し参拝促進に繋げる「栃木の神社PR事業」など数多くの周年事業を行い、令和五年二月二十一日には、周年事業の集大成となる「栃木県青年神職むすび会創立六十周年記念大会」を、ホテル東日本宇都宮にて栃木県神社庁長 阿部徳様、栃木県知事 福田富一様をはじめご来賓関係者、県内外より神社関係者各位の多くのご臨席を賜り盛会の内に取り納めることができました。コロナ禍前のような形式で祝賀会まで挙行でき、以前の様な賑わいが戻りつつあることを実感した次第であります。

現在、コロナ禍にて延期となっております「沖縄県戦没者慰霊祭並視察研修会」につきましては、感染症の制限が緩和されてきておりますので、多くの会員と共に慰霊祭を斎行して参りたいと存じます。

当会が還暦を迎えた創立六十年の目出度き節目の年に、現役会員として立ち会う事ができ、その上、実行委員長までも仰せつかり、誠に慶賀の至りに存じます。今日に至るまで先輩方をはじめ、会員達のご協力をいただき、周年事業を無事に遂行することができましたことに感謝の意を表し、実行委員長のご挨拶に代えさせていただきます。誠にありがとうございました。

創立六十周年記念事業開始奉告祭 並びに疫病退散祈願祭

五月十九日、栃木県神社庁神殿に於いて創立六十周年記念事業開始奉告祭並びに疫病退散祈願祭を執り行いました。齋主越口政典実行委員長、副齋主和田晋典、祭員三田真隆、小堀巧人、伶人奉仕の笙黒本裕子、箏築篠田元暉、龍笛人見圭祐による、計七名での祭典奉仕となりました。

祭典には上野敬則会長をはじめ、栃木県神社庁庁長宇都宮二荒山神社宮司阿部徳様にもご参列いただき、皆心を一つに記念事業の成功と一日も早い疫病終息を祈念致しました。今年度は、医療従事者応援事業、沖縄県戦没者慰霊祭、御朱印展などの様々な創立六十周年事業が企画されています。これらの事業は、周年記念事業実行委員会が社務多忙の中にあっても幾度も会議を重ね、ぜひ素晴らしい事業にしたいと考え抜いた記念事業ばかりです。むすび会創立六十周年記念に相応しい、輝かしい事業となるよう心から期待しています。

この会報兼周年記念誌が完成し、皆様に読んで頂いてる頃には記念大会をはじめ、前述の様々な周年事業が実施されているはず。願わくは、この周年事業がこのコロナ禍にあっても、全て恙なく終えている事を、また、疫病が終息して元の活気溢れる社会に戻っていることを切に願うばかりです。

大前神社 齊藤 隆倫



救急救命講習会

六月十日、宇都宮市野沢町にあるバルティ（とちぎ男女共同参画センター）にて救急救命講習会が開催されました。当会の事業では珍しいかもしれません、実技もしっかり行うという事で、スーツ姿ではなく動きやすい格好でDRF宇都宮理事長の照井佑徳氏、NPO法人ツリーハウス代表の土肥隆太氏の講師二名。上野会長以下会員十名の他、鷲宮神社宮司宇賀神義宣様、宇賀神桂子様、足利市に鎮座する八幡宮氏子総代会副会長の秋草義雄様の計十五名が参加しました。湿気はありましたが、それほど気温の暑さを感じないそんな日の研修会でした。

社頭奉仕を考えるとあまり救急救命講習というものは接点がないように感じるかもしれませんが、もちろんそんなことはありません。ご高齢の方の参拝も多く、特にご高齢の方は他の年齢層よりも急体調を崩されやすい可能性があるということ。また、年齢問わず体調を崩された方が万一心肺停止となった場合、救急車が現場にたどりつくまでの間、神社職員が何らかの救命活動を行わなければなりません。そのような事態に直面した際、適切に対処できないといけないと感じておりましたので、引き締まった気持ちで参加しました。

研修会では、心肺停止してしまつた方、窒息してしまつた方、出血している方など、症状ごとにスポットを当てて基本的な知識や事例に関する講義、マネキン、AEDを使った実技など、知識面、実技面、精神面の部分をあらゆる角度からしっかりと教えていただきました。参加者は講義の内容に時折声をあげて驚くような反応もあり、そんな中でも講師のユーモアある話や多彩なりアクションなどで笑いなども起こり、厳しくもあり、まじめな部分もあり、面白い部分もありと、

非常にメリハリのある有意義な研修会で、コロナ禍でなかなか事業に参加できない会員もいたと思うのですが、非常に刺激的で、実用的な部分もしっかりした良い研修になったのではないかと思います。

近年、日本は凶悪な事件が起きております。この原稿を書いている時期が、東京秋葉原通り魔事件が起きてから十四年目を過ぎた頃でした。似たような事件で、去年起きた京王線通り魔事件も記憶に新しいのではないのでしょうか。恐ろしい数々の事件ですが、近年自暴自棄を起こして色んな人を巻き込むような事件が増えているように思えます。メディア等では外国の事件で耳にする銃乱射事件等があると思うのですが、日本も似たような事件が増えてきているような話も入ってきます。もしかしたら身近でそういった事件が起きて、救急救命活動をしなさいといけませんが、自分自身、心肺停止や窒息、大量出血状態の方の命が、時間が経てば経つほど助かる確率が減っていく中で、しっかりと教わつた流れで処置をしないとイケないだけでなく、それを殺伐とした空気、周りの人に見られているかもしれない状態で救命行動ができないといけないわけです。非常に難しいと思います。今回だけではなく継続的に救急救命の研修を受講し、実技を何度も練習しないと行動できないと思いますので、今後も救急救命講習会を研修事業として実施できると良いと思います。

救急救命の知識と技術をご教授いただきました講師先生方、齊藤委員長以下研修・広報委員会の皆様に、このような貴重な体験をする機会を作っていただき感謝したいと思います。ありがとうございました。

太平山神社 増淵 直紀



医療従事者応援事業

八月二十三日、医療従事者応援事業として、会員各神社にて参拝者の皆様に御奉製いただきました「むすび守り」の清祓式を御奉仕させていただきました。この医療従事者応援事業は創立六十周年記念事業の開始当初より、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、懸命に働く医療従事者の皆様に支援したいという越口実行委員長の強い思いから進めてきた事業です。

コロナ禍において心身ともに疲弊されている医療従事者の皆様に対し、我々青年神職がどのような支援が可能なかを模索することからこの事業がスタートいたしました。マスク等の寄付や募金活動など様々な支援のかたちが考えられる中、我々はお守りを奉製し、医療従事者の皆様へ感謝の思いと健康安全の願いをお届けするという方法を選びました。我々神職が日々御奉仕をする中での根幹である「祈り」を通じて、医療従事者の皆様の「心」に向けて思いを伝えるこの事業は、我々にしかできない支援のかたちではないかと考えました。またお守りについても、各御社頭にて、むすび会のマークを模したお守りを参拝者の方に御奉製いただき、メッセージを添えてもらうことにいたしました。むすび会の先輩方がこのマークに込めた「むすび」の思いを受け継ぎ、医療従事者の皆様と参拝者をむすぶ仲執りもちとしての役割を果たすことのできた事業であったと

思います。

お祓いをしたむすび守りは同日午後三時に、栃木県医師会様に寄付をいたしました。上野会長、越口実行委員長より稲野医師会会長様にむすび守りをお渡しすることができました。この後、栃木県医師会様から県内の医療従事者の皆様にお届けいただきます。

稲野会長様をはじめ栃木県医師会の皆様におかれましては、通常医療と併せコロナ禍への対応で非常にお忙しい中、我々の思いを御斟酌いただき快く受け入れていただきました。又、稲野会長様より現在における栃木県内のコロナ禍の状況についてもご説明をいただきました。医療提供体制が非常に逼迫しており、栃木県内の医療現場がいかに厳しい状況であるかを肌で感じるお話でありました。改めて我々一人一人がしっかりと感染対策を講じ、感染をしないことが何よりの医療従事者支援に繋がるのだと痛感いたしました。この事業で医療従事者支援は終わりではなく、今後も意識高く感染対策を続けることによって、微力ながら支援となれば幸いです。

最後になりますが、この事業を自ら先頭に立ち進めていただきました越口実行委員長をはじめ、むすび守り奉製にご協力をいただいた各神社様、参拝者の皆様、そして栃木県医師会の皆様にご心より御礼を申し上げます。

大前神社 井上 潤一



御朱印展

神青協令和四年定例表彰 最優秀事業賞受賞

九月三日〜十一日の九日間、宇都宮市新里町にある「道の駅うつのみやろまんちつく村」にて、栃木県青年神職むすび会創立六十周年記念事業『御朱印展〜栃木の神社巡り〜』を開催致しました。

近年の御朱印に対する関心の高まりを教化広報の好機と捉え、当会創立五十五周年記念事業として企画立案をし、平成三十年十月に道の駅しもつけにて始まった本事業も、当会主催では第六回を迎えました。

大きな節目の事業としての開催に当たり、展示される御朱印や御朱印帳の大幅な更新作業を行いました。九月開催ということで、彩り豊かな秋季限定の御朱印も多くご提供いただき、第一回では八十二社であった参加神社数は回を重ねるごとに増え続け、今回初めて百社を超える百八社という多くの神社の御朱印と三十七社の御朱印帳を展示することができました。皆様のご理解とご尽力に改めて心より感謝申し上げます。

今回の展示会場は、ろまんちつく村内のローズハットという施設で、これまでで最も広々とした空間をどのように活用し、展示を行うのか検討を重ねました。これまで行ってきた御朱印や御朱印帳の展示、県内神社の御朱印や対応方法を纏めた無料パンフレットの配布や有料冊子の販売に加え、インスタグラムを活用したフォトコンテストの最終選考作品の展示と来場者による最終投票、また神宮大麻全国頒布百五十周年に伴う頒布促進を目的とした神宮大麻に関するパネルの展示、更には千葉県神道青年会が企画された「モダン神棚」の展示や新たに神宮大麻を奉斎予定の方々への簡易神棚の無償配布な

どを行いました。

開催期間中は、会員複数名が白衣白袴に身を包み、ご来場の方々に丁寧に対応致しました。常に天候に恵まれたわけではありませんでしたが、マスクミ各社による広報の効果もあってか、平日でも三百人前後、最終の土日二日間だけで二千人以上の来場者がありました。相変わらず御朱印への関心は高く、来場者は一堂に会した百八社もの御朱印一つ一つに目を凝らしていました。九日間で五千人近くをお迎えしましたが、大空の為コロナ禍の中でも密になる事もなく、大盛況の事業となりました。私の本務社は農村の鎮守であり、日々のご参拝者は決して多くありませんが、それでも御朱印を求めていらっしゃるのには大半が県外や市外の方々です。御朱印というものが、各神社と新たなご参拝者との良きご縁を結びつつかけとなることを信じ、これからも本事業を展開して参りたいと思います。

瀧尾神社 和田 晋典



青少年育成事業

八月十八日、古峯神社にて夏休み子ども神社体験事業が開催されました。本来は十八日から十九日までの宿泊で行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症が急増した為、日帰りによる開催へと変更になり、上野会長以下会員と参加神職が十三名、そのご子息ご息女が十名参加しました。

まず、午前十時三十分には拝殿にて開講式を行いました。古峯神社権禰宜阿部修一様より、古峯神社の由緒や社殿についての講話をいただきました。続く正式参拝では、上野会長と参加者を代表して津田呼人さんが玉串を御神前にお供えしました。開講式終了後は古峯園に移動し記念植樹、午後には体験学習として禊と雅楽のレクチャー、むすび守りの奉製や竹水鉄砲の製作などを行いました。

禊レクチャー並びに禊体験では講師に宇都宮二荒山神社権禰宜佐藤智則様をお迎えし、ご講義頂きました。禊の作法を一通り解説頂き、実際に禊行をする運びとなりました。当日は早朝より霧雨が降っていましたがこの時には快晴となり、振魂・鳥船・雄健・息吹までを広場にて晴れ渡る空の中行い、その後大浴場に移動して禊をする事が出来ました。雅楽体験では阿部権禰宜様にご講義頂き、雅楽についてご解説頂いてから古峯神社神職による越殿楽・陪臚・浦安の舞の演奏を行なっていただきました。また、むすび守りや竹水鉄砲を作る時には少し複雑な工程に苦戦する子もいたものの、会員や親御さんに助けってもらいながら立派な物を作る事が出来ました。

参加した子供達は皆元氣一杯で、声高らかに鳥船をする姿にはこちらも元氣になってくる様な心地でした。講師による解説の際にはうってかわって落ち着いて静かに講師の話聞いていて、まだ小さい子供ながらもとても自立している事に感心しました。今回の神社体験学習を通して、参加された子供達が神社に興味を持ち、いつかは神職の道に進んでいただければとても嬉しく思います。私も次の世代に繋げられる様、より一層神明奉仕に努めていかなければならないと思いました。

再びこの様な青少年教化事業を行う時は神職子弟だけでなく、一般の方も参加できる様な事業にできる事ができれば、より良い教化活動に繋げていけるに違いないと言う手応えが感じられる事業となりました。

宇都宮二荒山神社 矢部 貴也



温泉神社宮司 津田亮さんのご子息

津田 呼人さん

ぼくは、八月十八日に行われた古峯神社の子ども神社学習に参加しました。古峯神社は神職さんから天狗が関係していることを知りました。ぼくがこの神社学習で一番緊張したのは、玉串奉奠です。たくさんの人の前で久しぶりに玉串奉奠をしましたがい経験になりました。

他に楽しかったことが二つあります。一つ目は、竹の水鉄砲を作ったことです。どのような感じで作るのかがわかりました。二つ目は、スイカ割りです。スイカをたたいてわれなかつたけど、たたけたことがうれしかったです。古峯神社にきていろいろ学べたことが本当に良かったです。

古峯神社権禰宜 渡辺幸雄さんのご息女

渡辺 紗希さん

私は、八月十八日に古峯神社での夏休み子ども神社体験に参加しました。いろいろな体験をしてとても楽しかったです。初めてのみそぎのときは、大きなお風呂場に冷たい水が入っていて、木のおけに水をくんで、自分の体に水をかけてみそぎをしました。とても冷たかったです。みそぎの後、参加者の矢部さんがその日お誕生日だったので、みんなで水をかけたのがちょっとおもしろかったです。

水鉄砲を作ったときは、竹の中にスポンジが入って取れなくなったりしたけど、みんなで協力して水鉄砲を作れました。楽しかったです。一日だけの神社体験だったけど楽しく、いろいろと勉強ができてとても良かったです。五年生の夏休みは、いつもとちがう体験ができて、良い思い出になりました。また参加したいです。ありがとうございました。



栃木の神社PR事業

当会六十周年の諸事業を進めていくにあたり、一般の皆様にも六十周年事業についてより知っていただくことが必要だという運びとなりました。当会はこれまでSNS運営は行っておらず、ホームページの運営を行うのみでした。よりはやく、より身近に当会の情報をお届けできるよう、越口実行委員長よりSNSの一つであるInstagram運営の提案がありました。私は実行委員長の命を受け、Instagramの投稿を担当することになりました。

まずは、投稿を見てくださるフォロワーをどのように増やしていくか、その方法を考えました。私自身Instagramにあまり詳しくなかったため、詳しい会員や巫女、知り合いの意見も取り入れながら試行錯誤しました。県内のSNSを運営している神社へ呼びかけてアカウントの存在を広報していただき、さらに、各事業を行う会場や県内神社に、アカウントを知っていただくためのビラを貼って広報しました。また、島田八坂神社の小堀さんの先導のもと県内各神社の紹介投稿を行い、九月から十月にかけて毎日投稿をしました。六十周年事業の一つでもある御朱印展の開催の際、県内各神社から集めたアンケートを基に、会員で分担して各社ごとの記事を作成しました。記事を作成するのは苦労もありましたが、県内にあるお社のご祭神、境内の様子など、知らない面を知ることでも多くありました。それは日頃投稿を見てくださったフォロワーの方々も同じだったと思います。

そのような取り組みを重ねて少しずつフォロワーを増やし、現在は三百八十を超えるフォロワーをいただき、当会についての様々な情報を、一般の皆様にも届けることが出来るようになりました。

これからも六十周年事業についての投稿に限らず、今後の当会の諸事業を積極的に投稿し、SNSを活用していきたいと思えます。

宇都宮二荒山神社 人見 圭祐

栃木の神社めぐり Instagramフォトコンテスト

六月一日から七月三十一日にかけて「栃木の神社めぐりInstagramフォトコンテスト」を行いました。募集期間中には、約四百件もの応募がありました。これらの応募の中から実行委員会の審査員が選考を行い、特に優れている数点を選出しました。選考された作品を「道の駅うつのみや ろまんちつく村」にて行われた御朱印展にて展示し、来場者に投票をしていただき最終審査となりました。

最優秀賞を一点、優秀賞を二点、特別賞を四点選び、記念品を贈呈いたしました。記念品は時勢を鑑み、使用しやすい物ということとAmazon商品券をそれぞれお渡しすることとなりました。

写真展は過去にも多くの団体で行われてきた事業ではありませんが、昨今においてはスマートフォンが発達やSNSの社会一般への浸透によって多くの方が気軽に写真を撮影し、さらに多くの方の目に留まる媒体に投稿する事によっていわゆる「映え」を意識した画像が多くなりました。単純に色鮮やかで美しい作品や構図の素晴らしい作品以外にも、ストーリー性を感じさせる作品などがあり、それらを見た審査員達も作品の素晴らしさやそれらの作品を撮影するに至った経緯や手間、時間などに思いを馳せ、それらから我々神職の視点とは異なる視点を参拝者が持っていること、我々からしてみれば見過ごしてしまう事を参拝者は見ているということに改めて意識を向ける事が出来、違う視点を得るといふ当初は教化活動の一環として行った事業では有るものの、終わってみれば我々むすび会会員のそれぞれの奉仕神社においての今後の神前奉仕に当たって、大変有益となる事業になったことと考えております。

今回のフォトコンテストは昨今の時代背景を多く反映したものであり、募集方法もInstagramに投稿してハッシュタグをつけて行うもので、普段Instagramを使用しない私としては不慣れな物でした。しかしながら多くの作品に触れたことよって新たな知見が得られたことで私自身も新しい事を始める切っ掛けとなったことは個人的にも

musubikai.60th.anniversary

87 投稿 390 フォロワー 11 フォロー中

むすび会60周年
「栃木県青年神職むすび会」は40歳以下の若手神職で結成されております。昭和37年に結成されてより本年(令和4年)で創立60周年を迎えました。周年事業についての活動をより多くの方に知っていただく為の公式アカウントです

www.tochigi-jinjacho.or.jp/musubi

フォローする メッセージ

おすすめ すべて見る

いいね！
musubikai.60th.anniversary 6月16日は、栃木県神社庁において60周年記念事業についての会議を行いました。
暑々と準備が進んでいます。
また、周年事業の一つでもあるフォトコンテストについても大々大募集中です!!

喜ばしいことでした。この事業を通じ多くの参拝者が多くの神社に足を運び、多くの風景を見て神社の清々しさに触れられたことは神社にとっても素晴らしいことがあったのではないかと感じております。この事業を行うに当たって多くの時間を割いて下さった下野広告社様をはじめ、多くの方々に御礼申し上げます。

乃木神社 岡村 洋佑



最優秀賞
「無病息災を願って☆」
@ck.wd_su.bebe 様



優秀賞
「夏の音色と光の共演」
megu.min33 様



優秀賞
「里の朝」
ほーやん 様



- 【第一部】記念式典
- 一、開式の辞
 - 一、神宮・皇居遥拝
 - 一、国歌斉唱
 - 一、敬神生活の綱領唱和
 - 一、会長式辞
 - 一、創立六十周年記念事業経過報告
 - 一、来賓祝辞
 - 一、祝電披露
 - 一、「神道青年の歌」
 - 一、「美はしき山河」唱和
 - 一、聖寿万歳奉唱
 - 一、閉式の辞
- 【第二部】記念講演
- 演題 「波乱爆笑伝」
- 講師 落語家 三遊亭 歌橋先生
- 【第三部】記念祝賀会
- 一、開宴の辞
 - 一、会長挨拶
 - 一、来賓祝辞
 - 一、乾杯
 - 一、中締め
 - 一、閉宴の辞

むすび会創立六十周年記念大会

令和五年二月二十一日、ホテル東日本宇都宮にて、栃木県青年神職むすび会設立六十周年記念式典が開催されました。今回の記念式典にはコロナ禍の影響にもかかわらず、栃木県神社庁長阿部徳様、栃木県知事福田富一様、衆議院議員参議院議員の先生方、神道青年協議会会長始め多くの神道青年協議会役員の皆様、また、一都六県からも多くの御仲間の方をお迎えし、各代表の方のお祝いの御挨拶をいただき感激したところであります。

前日の下準備では、席の配置、来賓の名札、受付の準備、御朱印展の準備などを行いました。担当ごとにきめ細やかに作業をしている様子を見てみると、各役割分担により参加者をスムーズに誘導できるような事前打ち合わせがよくできていて、とても勉強になりました。私の担当は、参加者をお迎えするための案内誘導でした。駅の改札口から東口にあるバスまで五人で誘導をしました。宇都宮駅での誘導が終わった後、ホテル東日本宇都宮に戻り、一階ロビーから会場までの誘導係に加わりました。

講演会では、落語家の三遊亭歌橋先生をお迎えして、「波乱爆笑伝」という演題で講演いただきました。私は三遊亭歌橋先生の事を知らなかったのですが、栃木県で初めて真打昇進した落語家だという事を知って驚いたことを覚えています。講演の内容は、三遊亭歌橋先生が、三代目三遊亭圓歌師匠に弟子入りした経緯から始まり、前座、二ツ目、真打と、どのようにして真打まで昇進したのかを、笑いを交えながら分かりやすく話していただきました。その話の中で、師匠との想い出話が何度もありました。どの世界においても、師弟関係を大切にしながら一步一步進んでいくことが大切であると実感いたしました。その後の懇親会では、多くの先輩方や他の青年会役員の方々と懇親を深めることができ、貴重な時間となりました。

無事に六十周年記念式典での役目を終えましたが、式典の最中は何か失敗しないかと不安でした。こうして何事もなく終わることができて本当によかったと思います。五年後十年後に迎える記念式典でも、仲間たちとともに頑張りたいと思います。

栃木県護国神社 稲 貴洋



第二十五回一都七県協議会神職野球大会

九月二十一日、大宮けんぼグラウンドにて第二十五回一都七県協議会神職野球大会が開催されました。

自らを野球(のぼーる)と称した正岡子規の『砂の如き雲流れゆく朝の秋』という句を思い出させるような晴天のもと、台風の影響もなく、プレーする事が出来ました。

大会開催にあたって、栃木県青年神職むすび会会長、神青協関東地区理事、ならびに一都七県協議会理事を務める上野会長から「神職のみなさんの日頃の行いが良かった。」という有り難い言葉をいただき、審判長からは「このコロナという悪霊をどうか神職さん達に鎮めて欲しい。」とお話をいただきました。その言葉を胸に刻み、神職として、清々しい気持ちで試合を行うことができました。

神道と野球の関係性はないように思いましたが、古代エジプトでは、王様が長い棒を使って球を打ち、その飛び方でその年の吉凶を占っていたそうです(講談社学術文庫『ベースボールの詩学』より)。それが直接野球に発展したか定かではありませんが、昔から人々は「うきを『みせる』まつり」をしてきたのかと思うと、現在、コロナ禍のために様々な事が思うように出来なくなっている事は、大きな損失だと考えられます。

今回の栃木のチームは、全員で九名、うち野球経験者が二名という編成でしたが、成績は二勝一敗で、一都七県中五位という成績を収める事ができました。なにより、他県ともスポーツマンシップに則った交流ができ、大変良い時間を過ごせたと思います。むすび会では来年の大会に向けてすでに気合が入っており、今年七連覇を遂げた東京都神道青年会に太刀打ちできるよう燃えております。

しかし、まずは神職として、秋祭りや七五三に向けての準備を進め、皆様に快く参拝していただけるよう努めてまいりたいと思います。栃木県の青年神職のむすびつきを強くしていきたい、より一層神明奉仕に力を注いで行く所存です。これからも参拝者の方たちと、より良い言葉のキャッチボールを楽しめていけたらと思います。

鷲宮神社 菱沼 拓己



沖縄本土復帰五十周年記念事業

十月二十七日、神道青年全国協議会による沖縄戦全戦歿者慰霊祭にご奉仕いたしました。

沖縄県が本土復帰を果たし五十周年の節目にあたる本年の神青協が実施した最大事業の一つであるこの祭典奉仕にご指名いただいたことは、不安よりも有難い機会だと感じました。それは私が思う神職らしさや神職たらしめるものが何かと言うと、行動とそれに伴う実績により培われるものであると考えているからです。私の地元の慰霊祭では、「有名な神社の若い奴がやつても有り難くない。」と遺族の方に言われたこともありました。そのように思わせてしまった遺族の方々はもと、ご奉仕させていただく英霊に対し申し訳なく思ったことを覚えております。この祭典を通して自身をより神職たらしめようと臨みました。

祭典では、宮司前導の所役を仰せつかりました。総勢五十人を超える参進の前導を行い導くことは、普段一人で奉仕をしている身では体験することのないような緊張を覚えた事を今でも鮮明に思い出します。翌日は、戦歿者の遺骨収集に参加させていただきました。終戦後これだけの時間が経っても未だ防空壕はこれほど土で埋まったりままたのかと愕然としながらも、英霊とその遺族の安らかなることを祈りながら土を掘り起こしたことは生涯忘れません。

見聞きしたものでだけでなく自身の体験を通して語る事で、必要とする人の心の拠り所となれるよう、今後とも邁進していく所存です。

島田八坂神社 小堀 巧人



令和四年度 むすび会事業報告

(令和四年)

四月五日

会計監査会

栃木県神社庁

四月十四日

第一回役員・委員長会議

神社本庁

四月二十六日

神青協 第七十三回定例会議

ハイブリッド開催

五月十五日

神青協 沖繩本土復帰五十周年国土平安祈願祭 各奉務神社

五月十九日

第二回役員・委員長会議

栃木県神社庁

六十周年記念事業開始奉告祭

並 疫病退散祈願祭

令和四年度定例総会

五月二十日

医療従事者応援事業

各奉務神社

五月三十日

神青協 デジタル社会における

WEB開催

六月二日

神社の在り方を学ぶウェブ研修会

佐野市

六月十日

そののみ学園神棚祭

INSTAGRAM内

六月二十日

六十周年記念事業

那須御用邸

六月三十日

救急救命講習会

那須御用邸

七月四日

第三回役員・委員長会議

男兵同参画センター

七月六日

第二十八回神青協一都七県協議会 定例総会

栃木県神社庁

七月十八日

神青協 神道講話を学ぶウェブ研修会第一講

清水園(さいたま市)

八月五日

神青協 神道講話を学ぶウェブ研修会第二講

WEB開催

八月十八日

第四回役員・委員長会議

WEB開催

八月二十二日

六十周年記念事業 青少年育成事業

古峯神社

八月二十三日

第二回一都七県協議会 定例会議

東京都神社庁

八月二十三日

六十周年記念事業 むすび守り清祓式

栃木県神社庁

並 むすび守り寄贈式

栃木県医師会

令和五年度むすび会役員・幹事氏名・正副委員長氏名（令和五年四月現在）

【役員】

会長	和田 晋典	瀧尾神社	宮司
副会長	黒本 裕子	大宮神社	宮司
副会長	小林 誉史	星宮神社	権禰宜
監事	武内 聡史	報徳二宮神社	権禰宜
監事	上野 敬則	白鷺神社	権禰宜
監事	越口 政典	天満宮	権禰宜
議長	田邊 雅祥	岩崎神社	権禰宜
事務局 長	井上 潤一	大前神社	権禰宜
事務局 長	小林 迪寛	宇都宮二荒山神社	権禰宜
庶務 長	三田 真隆	日光二荒山神社	権禰宜

【地区代表幹事】

中央地区代表	篠田 元暉	宇都宮二荒山神社、栃木県護国神社	権禰宜
北東部地区代表	小幡 仁	芳賀支部・大前神社・塩谷支部・南北那須支部	権禰宜
西部地区代表	手塚 健太	上都賀支部・古峯神社・日光二荒山神社	権禰宜
南部地区代表	菱沼 拓己	下都賀支部・唐澤山神社・安佐支部・足利支部	宮司

【各種委員会】 正副委員長

【研修委員会】	委員長	山本 明翔	日光二荒山神社	権禰宜
	副委員長	須藤 茂成	日光二荒山神社	権禰宜
	副委員長	小幡 仁	鹿島神社	権禰宜

【広報委員会】

委員長	篠崎 博哉	宇都宮二荒山神社	権禰宜
副委員長	矢部 貴也	宇都宮二荒山神社	権禰宜
副委員長	稲 貴洋	栃木県護国神社	権禰宜

【事業・親睦委員会】

委員長	小堀 巧人	島田八坂神社	宮司
副委員長	増渕 直紀	太平山神社	権禰宜
副委員長	櫻木 悠人	今宮神社	権禰宜

【神青協・一都七県協議会関係】

神青協代議員・一都七県理事	和田 晋典	瀧尾神社	宮司
神青協代議員・神宮啓発委員	小林 誉史	星宮神社	権禰宜
神青協時局問題調査委員	三田 真隆	日光二荒山神社	権禰宜
神社新報社通信員	篠崎 博哉	宇都宮二荒山神社	権禰宜

令和四年度むすび退会会員・御結婚紹介

【退会会員紹介】



津田 宏

大変お世話になりました。退会になりますが、今後ともよろしく
お願い致します。



齊藤 隆倫

短い間でしたが大変お世話になりました。様々な活動を通じて皆さま
との親睦を深められたことは今後の神職人生において、とても有意義な
ものとなりました。今後の皆さまの益々のご活躍をお祈り申し上げます。



津田 亮

会員として貢献することは少なかつたですが、むすび会を通じて
たくさん新しいことを経験することが出来ました。ありがとうございます
でした。
これからはむすび会の活躍を陰ながら応援しています。



林 靖大

短期間の在籍でしたが、むすび会では大変有意義な時間を過ごさせ
ていただきました。ありがとうございます。
今後ともよろしくお願いいたします。



根本 直樹

むすび会で多くの仲間と、貴重な経験を得ることができました。大変
お世話になり、感謝しています。ぜひ仲間と親睦を深め、多くの研鑽を
積んでください。



福田 直之

皆様との出会いに感謝しております。誠に有難うございました。
むすび会皆さんの益々のご活躍をお祈り申し上げます。

【祝 御結婚】



大塚 聡
侑紀

奉職先 白鷺神社
入籍日 令和四年十二月二十五日
新郎のつばやき
未熟な二人ですが、今後とも（指導）鞭撻の程、宜しくお願い致します。

※令和四年三月三十一日当時の役職にて記載しております。

【足利支部】

尾茂小日日三提
花野下下田田箸
啓建朋惠万照
章一富広也紀之

神八日八八伊伊
光
明雲鹿雲雲勢勢
神神島神神神
社社社社社社

宮宮宮禰宮権宮
司司司宜司宜司

【安佐支部】

村村宮木影八毛長安新早永新佐
檜檜田村山田利竹蘇谷井乙女澤村野
知吉義直幹勇晴幸晶宏貢正
榮子宣丸樹男人喜治治巖子昭一行

浅浅八示字加賀涌一雀赤朝星唐
間間坂現都茂茂釜塚城日宮澤
神神神神宮雷雷稻神荷神天森山
社社社社社社社社社社社社社社社

権宮宮宮宮宮禰宮宮宮宮宮宮宮
宜司司司司司宜司司司司司司司

【上都賀支部】

若横横篠篠金下福山狐川増田田福武池渡阿石石石福多稲和町香伊金齋中
松瀬瀬田田子妻田田塚村湫邊中田内口辺部原原原田田葉氣井取原子藤磨
豊勝勝英信大財和泰好文一教喜節幸修奈方敬有隆成洋康正弘宗芳輝
明宣壽薫夫彦介大之久一男丸文光史敦雄一子惠士宏一孝誠祐義之生史美

天賀賀清清磯今今今高平瀧岩瀧貴報古古古古古古日日日日日日日日
蘇蘇瀧瀧山宮宮宮宮瀧田尾崎尾船二峯峯峯峯峯峯二二二二二二二二二二
満山山神神神神神神神神神神神神神神神神山山山山山山山山山山山山
宮社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社

宮禰宮禰宮宮権禰宮宮宮宮宮宮宮宮宮宮宮権権権権権権宮権権権権禰禰禰禰宮宮
司宜司宜司司宜宜司司司司司司司司司司司司宜宜宜宜宜宜司宜宜宜宜宜宜宜宜宜宜司司

【下都賀支部】

小字字白平刀刀後黒黒黒海海栗栗沼沼栗山板熊櫻荻荻寺荒大関関関小神小
林神神井山川川藤川川沼沼原原部部原杉垣倉木田田内川久口口口野山林
佳義一善治清清寧裕正敏宏城泰博千勝喜教琢英永法育岩智尋光善拓一
靖子宣雄之久満美子正那亨堯子治幸成早敏充裕也輝子子子貴哉子郎光之成

星鷺鷺磐磐磐磐熊雄雄雄野野八八須須胸八春日諏三三村大春琴琴琴神神神太
宮宮宮裂裂裂野琴琴琴木木賀賀形坂日枝訪毘毘檜神日平平平平
神神神神裂裂裂神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神
社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社

宮禰宮宮権禰宮宮権禰宮権宮禰宮権宮宮宮禰宮宮禰宮禰権宮権禰宮禰宮宮
司宜司司宜宜司司宜宜司宜司宜司宜司宜司宜司宜司宜司宜司宜司宜司宜司宜司



創業 明治以前



各種御神符・守札 その他授与品全般

湊御神符奉製所

株式会社 湊

伊勢市神宮会館前 (〒516-0025)
TEL(0596)22-2442(代表) FAX(0596)28-8445
info@ise-minato.co.jp http://www.ise-minato.co.jp

神社・寺院の授与品を心を込めて奉製いたします

御守・切り絵御朱印・おみくじ・熊手・守護矢・
御札・祈禱札・木札・和紙御朱印・クリア御朱印・
御朱印帳・絵馬・根付・記念品・置物・金カード・
ステッカー・他 オリジナルも承りますお気軽にご相談ください



TEL 029-251-0997 FAX 029-252-8287
〒311-4153 茨城県水戸市河和田町 3891
メール info@shinnihonkogei.co.jp

全国各神社御用達

神符・守札・木札・錦守・御守矢・交通安全守
集印帳・御守り袋・絵馬その他各種御札・御守
奉書紙・書道半紙・耐水奉書・他各種和紙産製

創業江戸時代後期 真心で奉仕する

今村紙業株式会社

代表取締役 今村和弘
〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門6237-11
電話 055 (272) 0514
FAX 055 (272) 8818

神祭具 授与品 記念品 奉製



株式会社 神路社

本社 〒516-8611 三重県伊勢市岩洲2丁目5番29号(私書箱第26号)
電話番号 0596-24-5858 / FAX 0596-24-5110
E-mail info@kamiijisya.co.jp

神苑(東日本支店)
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目26番14号 ACTビル4階
電話番号 03-3280-6720 / FAX 03-3280-6721
E-mail info-tokyo@kamiijisya.co.jp
http://www.kamiijisya.co.jp

誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製

天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009 (代表) FAX 0120-34-2996

神棚に御札をおまつりし
家内の安全をお祈りいたしましょう



伊勢市神宮会館 伊勢神宮直轄

伊勢神宮(中)
全長 約44.4m 高さ 約30m
全幅 約12.5m 高さ 約35m
10000円 (税込) ※144

淡路神宮
全長 約20.0m 高さ 約20.0m
全幅 約7.0m 高さ 約15m
2000円 (税込) ※188

家室神宮(中)
全長 約15.0m 高さ 約15.0m
全幅 約5.0m 高さ 約7.0m
8000円 (税込) ※748

※家室神宮・淡路神宮の大きさは各1/4(中)がございませう。他に壁掛け用神棚もございませう。
種類・寸法など詳しくは神宮会館公式通販 (http://jingukaikan.shop/) をご覧ください。

TEL 0596-22-0001 FAX 0596-22-1517
公式通販 http://jingukaikan.shop/ E-mail tsuhan@jingukaikan.jp

各授与品、記念品奉製

金欄綿守、合成樹脂製守、紙札守
木札、金属製守、反射ステッカー

●その他各種授与品御希望に奉製致します。

株式会社 三愛工業

〒311-4143 水戸市大塚町字谷津1761-16
TEL 水戸 (029)251-2051(代)
FAX 水戸 (029)253-5844

営業品目

縁起物入おみくじ・金属製守・木札守・紙札守
金欄綿守・各種熊手・守護矢・朱印帳

おまわりの奉製

株式会社 阿部

本社・工場 〒323-1104 栃木県栃木市藤岡町藤岡213-7
TEL (0282) 62-1010 (代表)
FAX (0282) 62-2061

あなたと一緒に
アイデアをカタチに
する会社です!!



株式会社 協栄社

真岡市荒町5133番地1
TEL.0285-82-9000

www.kyoeisha-printing.co.jp

総合印刷

(株)井上総合印刷

代表取締役会長 井上 光夫
代表取締役社長 井上加容子

本社 宇都宮市岩曾1355
TEL(028)661-4723
FAX(028)662-7607

創業百年信頼ブランド

麻・鈴緒・鯛口紐・化繊注連縄製造

モミヂヤ

有限会社

〒328-0042 栃木市沼和田町12-14
フリーダイヤル 0120-22-1312
FAX 0282-22-1387
https://momidiya.com/

新製品 神棚セット

いろは



株式会社 民俗工芸

〒857-1162 長崎県佐世保市御本町18-1
TEL 0956-34-5500 FAX 0956-34-5511
info@minzoku.co.jp

松岡計量器



〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内1丁目6番地 電話 0584-78-2364

授与品・記念品御奉製

株式会社 長谷川製作所

代表取締役 長谷川義貢

HASEGAWA
creation with warmth

〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町 466-1
TEL: 048-921-1221 / FAX: 048-921-1515

社寺建築請負い

株式会社 石川工務店

代表取締役 石川 明

〒321-1406 栃木県日光市松原町1233番地
TEL 0288-53-0408

漆工・極彩色・剥落止・単色塗・鍍金具・金箔・壁画及蒔絵
(建造物の復元・保存工事・美術工芸品制作及修理) 請負施工



株式会社 小西美術工芸社

東京本社 東京都港区芝 4-4-5 三田 KMビル3F
電話 03-5765-1481 / FAX 03-3455-9250

日光支社 栃木県日光市所野 2829-1
電話 0288-54-1198 / FAX 0288-54-1196

総合広告代理業 Advertising Agency.



株式会社 下野広告社

取締役会長 山本 守

〒320-0033 宇都宮市本町9-17
☎ 028-666-8123 / Tel (代表)

ご協賛いただき
ありがとうございました。

編集後記

この度も「会報むすび」を無事に発刊いたしました。当会会
員をはじめ、先輩諸兄、各協賛社様の温かいお力添えのおかけ
です。心より厚く御礼申し上げます。

さて、創立六十周年を迎えた令和四年度も前年度同様、事業
実施と感染症対策の両方を考えなければならぬ状況でした。
様々な工夫を凝らし、上野会長、越口実行委員長を先達として
会員一丸となつて力を合わせ、諸々の記念事業を恙なく実施す
ることができたことは、誇るべき実績だと思えます。今後は、
感染症対策に伴い生じていた諸々の制約から抜けて、従来と同
様に当会の諸事業を推進できるようになります。また、六月に
は周年記念事業の大取りとなる沖縄県戦没者慰霊祭並びに視察
研修会が予定されています。

本年度は、自己の研鑽と会員相互の親睦を図るといむすび
会の目的をしっかりと実現できるよう、諸事業に積極的に取り
組んで参りたいと思います。今後とも御指導御鞭撻の程、よろ
しくお願い申し上げます。

栃木県青年神職むすび会 頒布品



着帯のお祝い(安産祈願)

腹帯

〈岩田帯〉

頒布価格(1箱) **1,000円** (送料別)

くじら尺を用いて、縁起の良い7尺5寸3分(約3m)に裁断し、
高級感ある桐箱に納めました。

中の帯は、縦に二つ折にし、巻き納めてあります。(解説書在中)

注文からお届けまで、お時間をいただく場合があります。

納期に余裕をもって、ご注文ください。

ご注文
問い合わせ

〒326-0337 足利市島田町949(島田八坂神社内)

栃木県青年神職むすび会

事業・親睦委員会 委員長 小堀 巧人 宛

【ご注文はTEL・FAXにて受付致します】

FAX.0284-22-4473 TEL.0284-22-4472

創立六十周年記念事業
実行委員会名簿

委員長	越口 政典
副委員長	田邊 雅祥
副委員長	和田 晋典
監事	津田 宏
監事	寺内 誉迪
総務局長	井上 潤一
会計	小林 迪寛
委員	武内 聡史
委員	小林 誉史
委員	岡村 洋佑
委員	黒本 裕子
委員	齊藤 隆倫
委員	三田 真隆
委員	小幡 仁
委員	小堀 巧人
委員	人見 圭祐

令和四年度
研修・広報委員会名簿

委員長	齊藤 隆倫
副委員長	根本 直樹
副委員長	篠崎 博哉
委員	林 靖大
委員	高橋 林之介
委員	大塚 聡
委員	増淵 直紀
委員	須藤 茂成
委員	古川 導正
委員	田名網 健太
委員	太岐口 建彦
委員	篠田 元暉
委員	手塚 健太
委員	小幡 仁
委員	櫻木 悠人
委員	渡辺 伊吹
委員	菱沼 拓己